

全国の全農グループ石油基地から出荷される石油製品や海外から全農が直接輸入する石油製品について、JISに基づく品質検査を行い、確かな品質の石油製品の供給をサポートしています。また、販売した製品の苦情が発生した際は、分析を通じて課題の解決をサポートしています。

全農グループ石油基地のタンク在庫品・輸入品 品質検査

日本工業規格(JIS)に基づき、各石油基地在庫品、輸入品の品質管理を行っています。

● 検査油種：



ガソリン 灯油 軽油 A重油

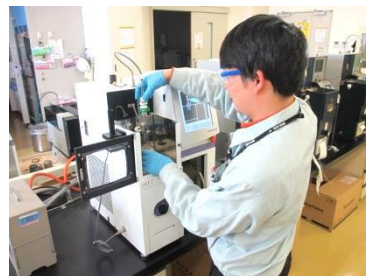
● 検査機器 例



蒸気圧試験機、密度試験機



微量硫黄測定機



蒸留試験機

● 主な検査内容

- ・毎月各石油基地のタンク在庫品の性状を検査し、基地から配送する前に品質を担保しています。
- ・全農が直接輸入している石油製品の通関分析を実施しています。
- ・年間で約400件の在庫品・輸入品品質検査を実施しています。

販売製品のトラブル解決をサポート

JA-SS等で販売した石油を利用し不具合が起きた場合、石油の品質的な問題の有無を調べます。

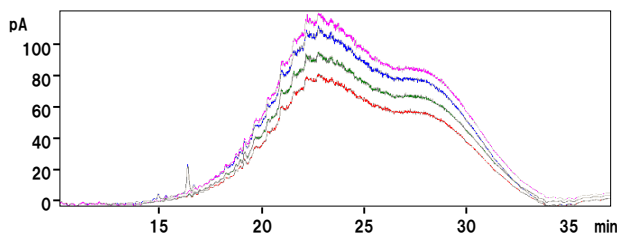
● 対象油種：

ガソリン、灯油、軽油、A重油、混合油など

● 検査可能な内容

JISに定める検査項目、他油種混入の検査、混合油の混合比率測定など

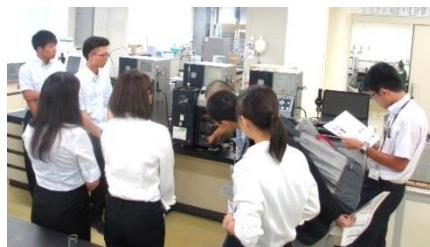
「草刈り機で焼き付きが起こった」、「石油ストーブの火が着かない」等、様々なトラブルについて、石油製品の品質面から原因追究をサポートします。



(例) 混合油における混合比率の推定
ガスクロマトグラフィー試験により依頼品混合油の混合比率を推定します。

石油製品分析に関する内部研修会

各石油基地職員や、事業所職員に向けた研修会を行い、全農グループの石油製品分析に関する知識・技能向上を図っています。



エネルギー研究室では
石油製品の安定供給を
サポートしています



のんのちゃん

のんちゃん